

平成24年度教員派遣研修実施報告

教 諭 丹 哲 治

研修講座名・訪問校名・研修先住所等	研修日時
河合塾 教員研修プログラム  東京都新宿区西新宿7-12-1	8月11日 10:50～16:40  計1日間、6時間
講師・担当者名	研修者氏名(教科名・校務分掌)
長野 隆(数学)	丹 哲治(数学科・3年担任、総務、進路)
計1名	計1名
研 修 の ね ら い	<p>旧教育課程で扱われていた複素数平面は、現行課程で姿を消した。新教育課程において数学Ⅲでまた復活することになったが、私自身は大学で少しかじった程度で、教える側では独学でしかない。今回の研修では、教わる側に立った複素数平面のとらえ方を学び、今後の教育活動に活かすようにする。</p>
研 修 内 容 ・ 状 況 等	<p>10:50～12:20 第1部 基本事項                      13:20～14:50 第2部 典型問題                      15:10～16:40 第3部 難関大入試で差がつく問題</p> <p>全体的に教える側と教わる側の両面を強く意識した講義内容。第3部では研修教員を生徒に見立てた模擬講義となった。</p>
成 果 と 課 題	<p>独学でしかなかった複素数平面は、実際に講義を受けてみるとやはり深みが違った。指導者の観点から複素数平面分野の概念をまとめることによって、ベクトルや行列の1次変換(新課程では行列は扱わない)と類似するところがありたいへん参考になった。</p> <p>複素数は見えない数だが、極形式は抽象を具体にするツール、共役複素数は計算効率化のツール、複素数平面は数と図形を結びつけるツールとなり、数学的な見方考え方が問われる分野であることがわかった。</p> <p>今回の研修では、生徒の陥りやすい誤答例も紹介され、生徒の躓くポイントを予測することによって効果的に進める指導方法も学んだ。今後の指導に活かしていきたい。</p>